

●『共生と希望の教育学』

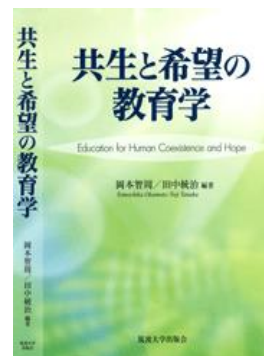
編者：岡本智周・田中統治

発行：筑波大学出版会／2011 年 7 月

価格：本体 3,200 円＋税

判型：A 5 判・並製、357 頁

ISBN：978-4-904074-20-6



【内容紹介】

人間社会が直面するようになった「共生」という課題に対し、教育に何がなし得るのかを考え、幾つかの提案を行った書籍です。理念・思想としての共生概念を検討したうえで、共生が求められる人間の関係性をミクロなものからマクロなものへと幅を広げつつ取り上げ、学校における人間関係、組織としての学校のあり方、人と社会とのつながりを論じました。折しも東日本大震災の直後に刊行され、被災された地域の復興と希望について教育学の立場から考えるきっかけも提供しました。

本書の意図の一つには、疑問や批判も向けられるようになった「共生」という理念が、それでもなお社会のなかで掲げられていることの意味を吟味することがあります。本書では「共生」を「社会的カテゴリ（社会現象を整理する枠組み）の更新」のプロセスと定義づけし、関係し合う人間が自らの前提にする社会的カテゴリをいかに組み直せるかという部分に、教育の可能性と希望を指摘することとなりました。人間関係や社会そのものを持続可能なものにするための、様々な教育資源が提示されています。

【出版社の書籍紹介ページ】

筑波大学出版会：<http://www.press.tsukuba.ac.jp/>

つくばリポジトリ：https://tsukuba.repo.nii.ac.jp/index.php?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_snippet&index_id=1797&pn=1&count=20&order=7&lang=japanese&page_id=13&block_id=83

【編著者紹介】

田中統治（筑波大学教育学域教授）、岡本智周（筑波大学教育学域准教授）

【執筆者紹介】（執筆順）

嶺井明子（筑波大学教育学域教授）、平田諭治（筑波大学教育学域准教授）、庄司一子（筑波大学教育学域教授）、唐木清志（筑波大学教育学域准教授）、浜田博文（筑波大学教育学域教授）、井田仁康（筑波大学教育学域教授）、飯田浩之（筑波大学教育学域准教授）、佐藤真理子（筑波大学教育学域教授）他